

安里屋ユンタ ver1.1

本調子

↓

中
工
七
合
四
七
合
七
七
五
工
四
上

中
工
合
工
合
五
工
四
合
四
上
合
上

中
上
合
工
合
乙
四
中
工
上
老
四
工

↑

四
合
四
上
合
中
工
中
中
上
老
四
工
四

上
中
工
合
工
五
工
合
工
合
五
合

五
合
工
合
五
七
五
五
工
中
上
合

中
五
工
合
工
中
上
四
合
四
上
合
上

中
上
合
工
合
乙
四
中
工
上
老
四

一、サー君は野中のいばらの花か  
サーユイユイ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて  
サーユイユイ

暮れて帰ればやればにひきとめる

主は白百合やればにまんならぬ

マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ

四、サー染めて上げましょ紺地の小袖

サーユイユイ

サーユイユイ

二人で気がねにやればに水入らず

掛けておくれよ情けのたすき

マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ

サーユイユイ

春夏秋冬緑の島よ

マタハーリ又チンラダカ又シヤマヨ